【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【公開番号】特開2012-29788(P2012-29788A)
【公開日】平成24年2月16日(2012.2.16)
【年通号数】公開・登録公報2012-007
【出願番号】特願2010-170727(P2010-170727)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　25/01　　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　25/06　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　25/00　　４５０Ｚ
Ａ６１Ｍ　25/00　　４２０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成25年5月16日(2013.5.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
先端部が鈍角又は略半球状な棒状部材と、
前記棒状部材を挿通自在とする内腔を有する穿刺針と、
前記穿刺針を挿通自在とする内腔を有し、先端に向かって先細りのテーパー部を有する拡張器と、
前記拡張器を挿通自在とする内腔を有するシースと、
から構成されると共に、
前記棒状部材の先端部において、前記棒状部材の基端部側に向かって発生する付勢力の有無により、前記棒状部材を、前記穿刺針の先端部から突没させる突没調整部を有することを特徴とする胃瘻造設術用拡張器。
【請求項２】
前記突没調整部は、前記棒状部材の基端部に付設されたフランジ部材と、前記フランジ部材に当接する弾性部材とを内部に有するケース部材から構成されている請求項１に記載の胃瘻造設術用拡張器。
【請求項３】
先端部が鈍角又は略半球状な棒状部材と、
前記棒状部材を挿通自在とする内腔を有し、基端部近傍にガス注出孔を有する穿刺針と、
前記穿刺針を挿通自在とする内腔を有し、先端に向かって先細りのテーパー部を有する拡張器と、
前記拡張器を挿通自在とする内腔を有するシースと、
から構成されると共に、
前記棒状部材の先端部に発生する付勢力の有無により、前記棒状部材を前記穿刺針の先端部から突没させる突没調整部と、を有し、
更に、前記突没調整部を内装すると共に、前記棒状部材と前記穿刺針との隙間を通って前記ガス注出孔から注入されたガスを貯留させるガス貯留室を有する気密チャンバーと、
から構成されていることを特徴とする胃瘻造設術用拡張器。
【請求項４】

更に、前記気密チャンバーの後端部には、前記突没調整部の基端部と当接するストッパーが嵌装された請求項３に記載の胃瘻造設術用拡張器。
【請求項５】
前記穿刺針の外径が０．５ｍｍ以上、４ｍｍ以下である請求項１乃至４のいずれかに記載の胃瘻造設術用拡張器。